

東京都世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエア タワー

■株主メモ

公告方法

事業年度 4月1日~翌年3月31日

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当3月31日中間配当9月30日

電子公告により行います。

(http://www.tokyu-com.co.jp/)

ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることが

できない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店並び に、日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行って

おります。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座 の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について、株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を、送付することが義務づけられました。配当金領収証にてお受取りの株主様は、年末又は翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は、配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際、その添付資料としてご使用いただくことができます。





■ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新の「賃貸・売買物件情報」や「室内 リフォーム施工事例」、「IR情報」等を掲載しています。ぜひ ご活用ください。



IR情報はこちらから

http://www.tokyu-com.co.jp/

企業ビジョン 「TOKYU COMMUNITY WAY」 ロゴマークの意味



- ●「安心」をベースに、「安全・快適」、「上質」の3つのステージを通じて、お客様とともに、より良い未来価値を創造していく事を、形の広がりとカラーグラデーションで表しています。
- ●3つの形の要素には「人と社会と環境」の調和の意味もこめています。
- ●無限大の形は東急コミュニティーとお客様との「信頼と絆」、そして その広がりを表しています。

第41期中間報告書

平成21年4月1日~平成21年9月30日

TOKYU COMMUNITY CORP.







未来価値創造のベストパートナーを 目指して



中村元宣

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第41期(平成22年3月期)の中間報告書をお届けするにあたり、 ご挨拶を申し上げます。

当中間期における国内景気は、一部に持ち直しの動きが見られたものの、前期に引き続き厳しい状況で推移いたしました。管理業界におきましても、新築マンション供給の減少や企業収益の悪化などが市場に大きな影響を与え、厳しい事業環境が続いております。

当社グループといたしましては、業務・サービス品質を維持したコストマネジメントの徹底、競合他社との差別化によるブランド力の向上などに取り組むことにより、事業競争力を強化してまいります。さらに、公共施設への積極的な受注活動を展開するなど、事業環境に即した柔軟な対応を推進いたします。

また、引き続き、中期経営計画の重点課題を推進することにより、株主価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

わたしたちが提供する一つの未来価値

東急コミュニティーでは、管理業、賃貸業、工事業等を中心としたマンション・ビル管理運営において、 将来的な展望に立った「4つの価値あるサービス」を展開しています。

マンション生活価値を高め、住み心地の良さを大切に考える

マンション生活価値

マンションにお住まいの方の 将来的なニーズの変化をとらえた、 新商品・サービスの企画開発を行います。

資産活用価値を常に最大限まで引き出す

資產活用価値

入居者様・利用者様のニーズの変化を見越した、 新商品や企画の開発により、 独自の事業構築を行います。 ビジネス環境価値のさらなる向上をサポートする

ビジネス環境価値

多様な施設の管理実績に基づき、 施設に応じた特色ある管理運営の提案、 商品の開発を行います。

建物再生価値を高めるための最適な提案を目指す

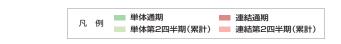
建物再生価値

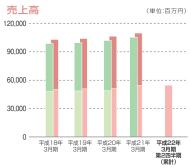
日常の建物管理、点検、診断などを踏まえ、 専門家として長期視点での合理的・経済的な 修繕や改修工事のサポートを行います。

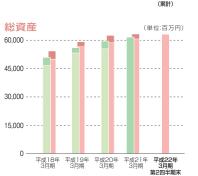
古	444		4811	20	
尹	未	U)	你玩	沉	

*4	77		平成18年3月期 (2005年度)		平成19年3月期 (2006年度)		平成20年3月期 (2007年度)		平成21年3月期 (2008年度)		平成22年3月期 (2009年度) 第2四半期(累計)		
科	目				単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	連結
売		上	高	(百万円)	98,773	103,047	99,673	104,074	101,801	106,386	104,085	109,794	54,589
経	常	利	益	(百万円)	4,389	4,688	5,593	5,900	6,434	6,624	6,279	6,456	2,897
四当	半期(当	i期)純	利益	(百万円)	942	991	3,030	3,187	3,776	3,722	3,593	3,726	1,645
総		資	産	(百万円)	50,780	54,203	55,888	59,104	59,424	62,389	60,155	63,156	63,137
純		資	産	(百万円)	19,468	20,838	22,227	23,754	24,102	25,572	26,485	28,145	29,427
1株	当たり四半	期(当期)約	純利益	(円)	62.47	65.89	210.49	221.34	262.28	258.51	249.54	258.79	114.28

(注)1株当たり四半期(当期)純利益は、期中平均発行済株式総数により算出しております。















当中間期の我が国経済は、輸出や生産の一部に 持ち直しの兆しが見られたものの、企業収益の落ち 込み、設備投資の減少、雇用・所得環境の悪化など により、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

Review of Operations

このような状況のもと、当社グループは、業務・ サービス品質を維持したコストマネジメントの 徹底、市場規模に応じた体制整備による工事業の 受注拡大、公共施設の管理・運営などに民間企業の ノウハウを活用する指定管理者制度·PFI事業・

再開発案件への取り組みなどに注力し、事業競争力 の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間 (第2四半期連結累計期間)の売上高は 545億89百万円(前年同期比0.4%增)、経常 利益は28億97百万円(前年同期比0.8%減)、 中間(四半期)純利益は16億45百万円(前年同期 比0.3%増)となりました。

経営戦略と対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、内需拡大方針に 基づく政府の政策運営が期待されますものの、設備 投資及び新築工事着工数は低い水準にあり、また雇 用・所得環境も厳しい状況であることなどから、回 復にはなお時間を要するものと予想されます。

当社グループにおきましては、競合他社との差別 化を積極的に進めるとともに、引き続き業務・サー ビス品質を維持したコストマネジメントの徹底、 工事業の受注拡大、公共施設管理の受注拡大に向けた

積極的な営業活動を展開してまいります。さらに、 社内の経費、人員配置につきましても、継続的に 見直しを実施してまいります。

また、中期経営計画の重点課題である業務・サービス 品質の向上、受注強化による事業拡大、生産性の 向上、周辺事業の確立、内部統制・コンプライアンス の強化を、引き続き全社一丸となって推進し、 お客様から選ばれる東急コミュニティーを目指して まいります。

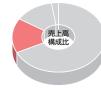




37,102百万円 (前年同期比1.5%増)

構成比 68.0%





8,855百万円 (前年同期比2.1%增)

構成比 16.2%

事業の概況 マンション管理におきましては、事業環境の変化 に対応すべく、商品の開発やサービスの向上に努めてまいりま した。マンション管理組合向け地震対策ガイドブック「対災力」 による防災対策の提案を強化するとともに、マンション生活関 連サービスの充実を図るべく、水回りのトラブル対応・管球の 交換などを行う有料会員制の専有部サービス「家族力・プラス (かぞくりょく・プラス) | の展開を図ってまいりました。

また、緊急時における応急処置など、一次対応の時間短縮を 図るべく、首都圏において新たな執行体制の構築を推進し、緊 急対応サービスの強化を図ってまいりました。

ビル管理におきましては、価格競争力の強化、技術力・サー ビスなどの品質の確保に努めてまいりました。

また、オフィスビル、商業施設などを中心に新規案件の開拓 に努めるとともに、市街地再開発案件など大型プロジェクトに も取り組んでおります。

その他、全国の公営住宅をはじめ、公共施設(指定管理者・ PFI案件)への積極的な受注活動を推進しております。

事業内容 マンション管理では、管理組合運営をはじめ、フロ ントサービス、緊急対応サービス、清掃などマンション管理にかか わる様々なサービスを、高いクオリティーで提供します。また、長 期修繕計画や資金計画の策定、定期的な建物診断を実施し、老 朽化対策、環境改善を提案します。

ビル管理では、豊富な管理ノウハウの蓄積により事務所、店舗 はもちろん、学校、病院、プラネタリウムの他、再開発物件等の大 型複合用途施設の管理運営にも優れた対応力を持っています。

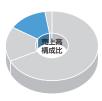
事業の概況 賃貸業におきましては、景気の減速・企業業 績悪化の影響を受け、オフィス賃貸市場は一部都心部に おいて空室率の上昇に歯止めがかかりつつあるものの、 賃料水準は未だ下落傾向にあります。

賃貸住宅市場は、高額賃貸住宅における稼働率の低下・ **賃料水準の下落が見られる一方で、都心部を中心とした単** 身世帯の賃貸需要は引き続き堅調に推移しております。

このような状況のもと、既存テナントの満足度を高める 運営を強化するとともに、物件特性及びマーケット環境を 的確にとらえた戦略的な営業活動を実施し、早期の稼働 率向上、中長期を見据えた賃料水準の維持を図ってまい りました。

事業内容 賃貸運営業務だけでなく、同時に建物メン テナンスも行う当社賃貸業は、資産活用に加え資産維持 の視点から、建物プランニングの段階より参画し、テナン トリーシング、テナント契約管理、アフターサービスまで を一括して担います。





7,415百万円 (前年同期比10.0%減) 構成比 13.6%





(前年同期比17.6%增)

,342百万円

構成比 2.4%

事業の概況 工事業におきましては、マンション共用部分 を中心に、建物延命化のための計画修繕工事、並びに資 産価値向上のための改良工事を実施してまいりました。

マンション専有部分工事につきましては、受注拡大に向け、 昨年発売した定額制の全面リフォーム商品「CORETTO (コレット) |に加え、より幅広いお客様のニーズにお応え するため、部位別パッケージ商品「petit coretto(プチ・ コレット) | を一都三県(東京·神奈川·千葉·埼玉) で展開し てまいりました。

また、事業基盤の強化を図るべく、安全衛生管理、品質管 理の徹底、工事関連法令の遵守並びに改修計画提案力の 強化に取り組んでおります。

事業内容 建物維持保全マネジメントシステムとして、 予防保全の視点から、適切な改修工事の提案・実施をマネ ジメントし、総合的に建物の資産価値と住環境を守ります。 また、コンストラクションマネジメント方式によるコンサル ティングや、住宅・オフィスビルの内装リフォームなど、建 物に関する丁事を幅広く手がけています。

事業の概況 その他の事業におきましては、マンション 生活関連サービスとしての不動産流通業、損害保険代理 業、ビルテナントに対するオフィス関連サービス業、ホテル タイプの地域コミュニティー施設の運営、集合住宅に おける熱供給事業、リノベーション事業(マンション住戸に リフォームを施し、付加価値をつけて販売する事業)など 周辺事業の強化に努めてまいりました。

事業内容 マンション・ビルの管理業を周辺から支えて おります。個人・企業を問わず、お客様が利便性に優れた 快適な生活を送るために、いかにお役に立てるかを考え、 事業化している分野です。

※消去(セグメント間内部売上高) △125百万円 構成比 △0.2%

省エネ法改正―当社をとりまく事業環境

省エネへの取り組み

平成20年度の 日本の温室効果ガス排出量

12億8.600万トン 〈前年度比6.2%減〉

※平成20~24年の京都議定書削減約束値達成 のためには2.5%の削減が必要。平成21年11月 速報値。【出典:環境省】

昭和54年、石油危機を契機に制定された「エネルギーの使用の合理化に関する法律 (省エネ法) は一定規模以上の大規模な工場に対してエネルギー管理を義務付けていま した。しかし、近年は業務・家庭におけるエネルギー使用量が大幅に増加。このような状況 から、これまで重点的に省エネルギーを進めてきた産業部門の工場や大型ビルだけでなく、 企業全体においてもエネルギーの使用の合理化を推し進めるため、平成20年5月に 省エネ法が改正されました。

当社に関連する法制改正概要

省エネ法 エネルギー使用の効率化・省エネ化によるリスクの低減

省エネ法の改正による事業者単位の導入イメージの変化



ビル単体が1,500kl/年*未満であれば対象外



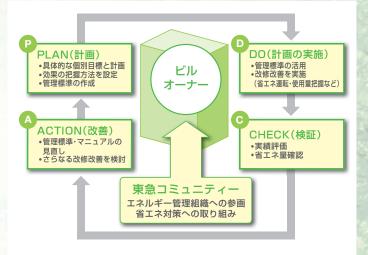
エネルギーの使用状況について ビルオーナーによる経済産業局への報告が義務化

- 1 事業者全体としてのエネルギー使用量が一定規模以上の場合には、管轄の経済産業局に対して「エネルギー使用量状況届出書」の届出を行う必要がある。
- 2事業者全体としてエネルギー消費原単位を中長期的に年平均1%改善する努力目標の設定が求められる。
- 3 特定事業者・特定連鎖化事業者においては、エネルギー管理統括者、エネルギー管理企画推進者をそれぞれ1名選任し、企業全体でのエネルギー管理体制の推進が義務付けられる。

当社の省エネ「PDCA」への取り組み

7ページでご説明いたしました省エネ法の改正 は、事業者(ビルオーナー)にとって"負担"ばかり ではありません。省エネへの取り組みは、「法規制 への対応」はもちろん、「コスト削減」、そして「企 業の社会的責任としての環境配慮」という3つの 目的を実現します。

当社は、今回の省エネ法改正前より、対象建物の オーナー向けに省エネ活動の「PDCAサイクル |を 構築し、省エネ診断ソフトや省エネマニュアル、提 案商品などを整えて、そのサポートに取り組んでま いりました。この度の省エネ法の改正により、対 象建物も増加します。当社はさらにプロフェッショ ナルなサポートができる技術員の育成を目指し、積 極的な研修を進めてまいります。



当社では、エネルギー使用の合理化を図ることを目的として、ビルごとの 運転管理、計測記録、保守点検等に関する管理標準の作成や、施設改善の 提案を管理経験を活用して行い、継続的に省エネルギーに取り組みます。

SEESERの取得

当社は、平成18年より、(社)日本ビルエネルギー総合管理技術協会の「ビル管理 優良事業者(省エネ・環境負荷低減事業者)評価制度(SEESER:シーサー)」の 認証を取得。これは、省エネや環境負荷低減を提案できるビル管理事業者である ことを証明する制度です。



Superior Enterprise Evaluation System in Environmental load Reduction

Topics2 トピックス2

● 東急コミュニティー TOKYU**security**

地域限定版 COMUSE 「あんしんノート」 シニア&キッズサービスを共同提案

当社が管理受託する東急線沿線を中心としたマンション約52.000世帯に お住まいの高齢者や子育てファミリーを対象に、セキュリティメニューを 紹介する「あんしんノート」を配付します。今後も高齢者やお子様が安心して 住み続けられるマンション管理を目指し、セキュリティサービスの拡充を 図ってまいります。

「あんしんノート」 商品ラインナップ (一部)

シニアセキュリティ…………異常時緊急対応、安否確認、24時間健康相談 キッズセキュリティ・ホーム ……お子様のご帰宅情報メール配信、非常通報 ・・ 東急線駅改札通過情報メール配信



※詳しい商品ラインナップや初期費用、ご利用料金は、パンフレットをご覧ください。※「COMUSE」は、平成21年より開始した有料会員制サービス「家族力・プラス」を含む専有部サービスの総称です。 ※地域限定版COMUSEは、「COMUSE」の基本サービスのうち、「安心・安全」のテーマを東急セキュリティとタイアップすることにより、シニアからキッズまで幅広い世代に展開するサービスです。

ビルマネジメント事業部 プラネタリウム業務

世界天文年2009 当社受託のプラネタリウム施設10館で、 日食観測イベントを開催!!



3年後の平成24年5月21日には都内で金環日食が観察できるそうです!!

イベントの 一部ご紹介

サイエンスドーム八王子 プラネタリウムでのライブ映像投影、観望会 相模原市立博物館プラネタリウム ライブ映像中継、観望会 足立区こども科学館プラネタリウム 事前学習、ライブ映像投影、観望会

★当社受託のプラネタリウムについては、ホームページをご覧ください。
東急コミュニティー → ビルマネジメント → プラネタリウム業務紹介

プラネタリウム施設10館の運営を受託する当社 は、7月22日、日本で46年ぶりとなる皆既日食に あわせ、さまざまな日食イベントを開催しました。 各施設とも予想以上のお客様が集まり大盛況 でした。公共施設が続々と指定管理者制度 に切り替わるなか、これまで培った施設運営の ノウハウが、今後の管理受託活動の強みとなる よう、イベントの企画や、教育ツールの作成など、 サービス提供にも常に力を入れてまいります。

受注物件実績のご紹介

商業施設

たまプラーザテラス ゲートプラザ2期

横浜市青葉区美しが丘一丁目他

商業施設(店舗数 71店舗)

地上5階·地下1階 延床面積 約42.000㎡

東京急行電鉄株式会社

平成21年10月



再開発

中目黒 アトラスタワー

所 在 地 東京都目黒区 上月黒一丁月

住宅 492戸 (UR賃貸含む) 店舗ほか 51区画

管理開始 平成21年10月



再開発

ベイシティ暗海 スカイリンクタワー

所 在 地 東京都中央区 **晴海=**丁日

住宅 736戸 (UR賃貸含む)

店舗ほか 3区画

管理開始 平成21年12月



	マンション管理	ビル管理・その他	賃貸(マンション)
管理物件数ストック 平成21年9月30日現在	366,293(戸)	1,139(件)	13,009(戸)
	賃貸(ビル)	プロパティーマネジメント(マンション)	プロパティーマネジメント(ビル/その他)
	145(件)	8,483(戸)	102(件)

四半期連結貸借対照表 (平成21年9月30日現在)

(甾	(†	눔	ъ	ш	ľ

	四十岁廷和其旧对宗教(千成21年3月30日現在)							
		科	目	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末			
資	量の音	ß						
流	動	資	産	22,598	22,446			
	現金	を及び	で 預金	6,839	7,000			
	受耶	7手形	/ 及び売掛金	4,588	5,279			
	販売	用不	動産	1,903	1,809			
	商品	1		2	2			
	未成	江事	支出金	342	904			
	貯蔵	品		204	207			
	短其	貸付	十 金	6,565	5,116			
	その	他		2,214	2,167			
	貸侄	引引	金	△ 60	△41			
固	定	資	産	40,538	40,710			
7	有形固	国定資	資産	23,552	23,233			
	建物	刃及び	「構築物	12,709	12,366			
	浉	战価償	却累計額	△ 4,868	△ 4,599			
	廷	物及	び構築物(純額)	7,841	7,767			
	土地	<u>b</u>		14,527	14,522			
	その	他		4,040	3,698			
	浉	战価償	却累計額	△ 2,857	△ 2,754			
	7	の他	心(純額)	1,182	943			
‡	無形國	国定資	資産	3,129	3,391			
ł	设資	その作	也の資産	13,856	14,086			
	敷金	を及び	保証金	6,312	6,422			
その他				7,543	7,668			
	貸侄	引引当	金	_	△ 4			
資	産	合	計	63,137	63,156			

					(単位:百万円)
		科	目	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末
負債	責の音	ß			
流	動	負	債	19,677	20,657
	支払	4手形	/ 及び買掛金	3,539	4,295
	短其	借入	金	1,216	1,242
	未払	人法人	、税等	1,305	1,295
	賞与	引当	金	1,786	1,606
	役員	賞与	引当金	43	55
	その	他		11,785	12,161
固	定	負	債	14,032	14,353
	長其	目借 入	金	570	1,054
	退職	战給付	引当金	6,790	6,565
	役員退職慰労引当金			-	1
	長其	預り	敷金保証金	6,187	6,262
	その	他		484	469
負	債	合	計	33,709	35,010
純貧	資産の	D部			
株	主	資	本	29,146	28,019
	資本	金		1,653	1,653
	資本	剰余	金	1,227	1,227
	利益	鯏余	金	26,265	25,137
	自己	2株式	È	△ 0	△ 0
評値	西・換	算差	額等	193	69
	その	他有值	西証券評価差額金	193	69
少数	放株主	と持ち)	87	57
純貧	資産台	計		29,427	28,145
負信	責純資	資産	計	63,137	63,156

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
売上高	54,589	54,381
売上原価	48,725	48,523
売上総利益	5,863	5,858
販売費及び一般管理費	3,063	3,047
営業利益	2,800	2,811
営業外収益	135	179
受取利息	19	42
受取配当金	16	24
保険配当金	50	53
投資有価証券売却益	_	45
負ののれん償却額	40	_
その他	8	14
営業外費用	38	69
支払利息	22	28
固定資産売却損	_	18
固定資産除却損	13	_
投資有価証券評価損	_	14
持分法による投資損失	0	_
その他	2	8
経常利益	2,897	2,920
税金等調整前四半期純利益	2,897	2,920
法人税等	1,246	1,280
少数株主利益	4	_
四半期純利益	1,645	1,640

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,918	605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 407	△ 1,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,222	△ 519
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,288	△ 998
現金及び現金同等物の期首残高	12,098	14,805
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,386	13,807

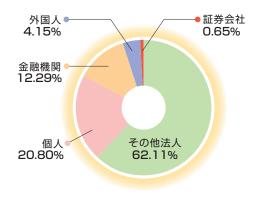
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (平成21年9月30日現在)

発行可能株式総数 52.000.000株 発行済株式の総数 14.400.000株 株主数 6.135名

大株主	当社への出資状況			
株主名	持 株 数	出資比率		
林 工 七	株	%		
東急不動産株式会社	7,202,000	50.01		
東京急行電鉄株式会社	720,000	5.00		
東急コミュニティー従業員持株会	625,980	4.34		
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	426,600	2.96		
株式会社東急ハンズ	350,000	2.43		
東急リバブル株式会社	350,000	2.43		

所有者別株式分布状況



会社の概要

株式会社 東急コミュニティー 所 在 地 東京都世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエア タワー 立 昭和45年4月8日 資本金 1,653,800,000円

従業員数 4.590名(平成21年9月30日現在)

連結子会社一覧 (平成21年10月1日現在)

東急ビルメンテナンス株式会社 (清掃、警備等)

関西東急ビルメンテナンス株式会社 (清掃、警備等)

株式会社湘南コミュニティー(清掃、警備等)

株式会社コミュニティースタッフ(人材派遣等)

株式会社ティエスコミュニティー (マンションの管理、賃貸、仲介及びリフォーム)

株式会社TCフォーラム(貸会議室、駐車場経営)

用智熱供給株式会社(熱供給業)

神大病院パーキングサービス株式会社 (駐車場経営)

(平成21年9月30日現在)

橋 隆 彦 常務執行役員 仲 田 浩 史 ※1 取締役社長 社長執行役員 中 山崎昌伯 村元宣 常務執行役員 ※1 取 締 役 専務執行役員 半 田髙行 執行役員渡邊治夫 ※1 取 締 役 専務執行役員 執行役員 西澤 茂 木 髙 志 茂 取 締 役 専務執行役員 鈴 木 和 俊 執 行 役 員 中 園 文 好 取 締 役常務執行役員 上義公 執行役員栗原 茂 田博司 執行役員後藤泰弘 常務執行役員 取 締 藤 記 グループ執行役員 正 岡 常務執行役員 古 篠崎忠也 常務執行役員 植 木正威 佐 野 道 孝 ※2 取 金 指 査 役 安 達 功 野本弘文 査 役 黒 崎 厅 袖 山靖 ※1印は代表権を有する取締役であります。

※2印は社外取締役であります。

※3印は社外監査役であります。

経営組織図 (平成21年10月1日現在)



事業所一覧 (平成21年10月1日現在)※印は会社法上の支店であります。

